

事業所、住民参加による渋滞対策 ノーマイカーウィーク実施により渋滞緩和

・松江都市圏は、公共交通の利便性や雪や雨が多いなどの気候等の要因により自動車分担率が高く、国道9号などの幹線道路では朝夕の通勤時間帯に混雑が発生。

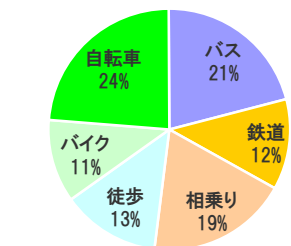
・事業所や市民の協力のもと実施した「松江市一斉ノーマイカーウィーク」(H22.10.18~24実施)では、市内全般で渋滞が大幅に緩和し、公共交通や自転車の利用者が増加。



▼ノーマイカーウィークの参加状況

約100事業所、延べ約3,200名が参加し、多くの方が自転車やバスを利用。

■利用交通手段



(事業所アンケートより。N=2297)

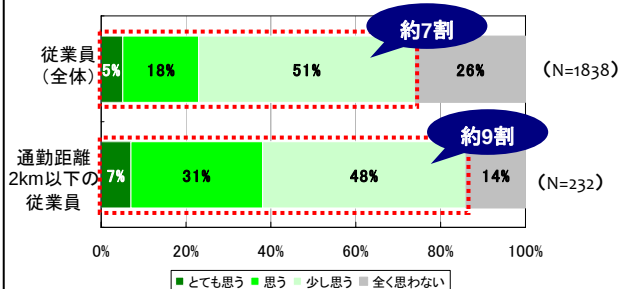
■市内中心部のバス利用者数の比較



(一畑バス・日の丸バス・市営バスの調査対象路線の合計)
約2,200人(約18%)増加

▼「ノーマイカーウィーク」の実施が普段の車利用を見直すきっかけに

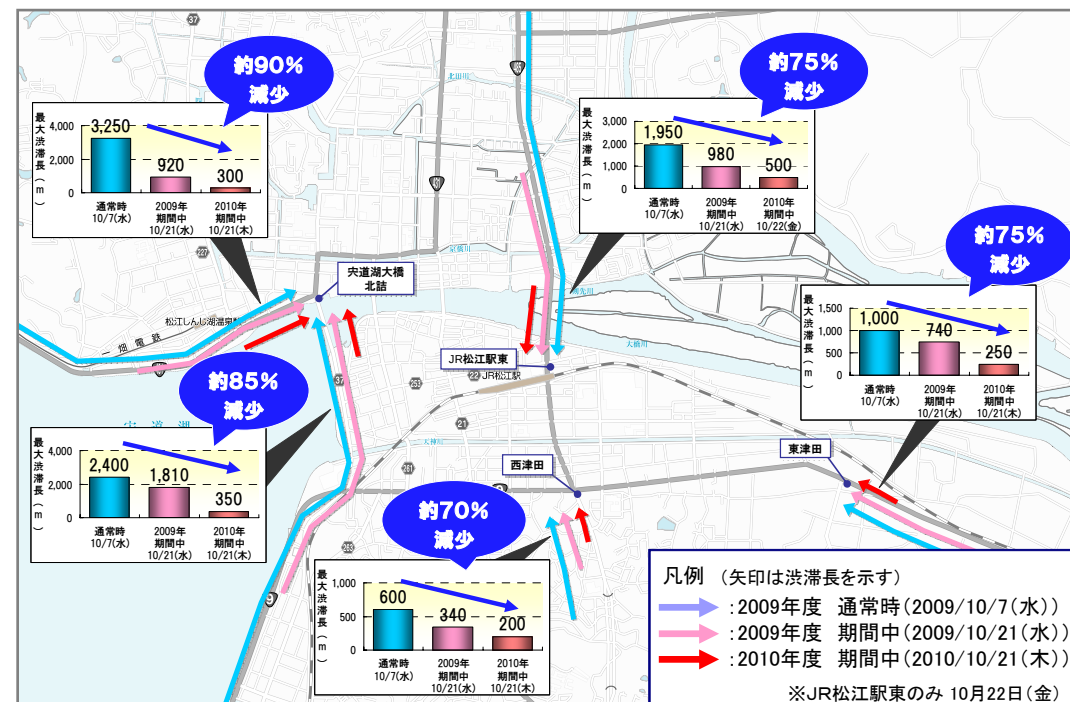
▼今後、自動車の利用を控える取り組みをしたいと思いますか？



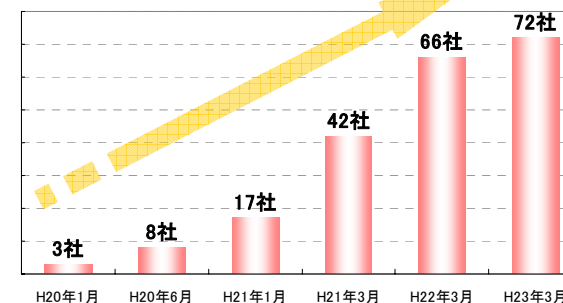
全体で約7割、通勤距離2km以下では約9割の人に対し、今後の自動車利用を控える取り組みを検討するきっかけを与えた。

▼ノーマイカーウィークの実施により市内各所で渋滞が大幅に減少

期間中多くの市民・事業所がマイカーから公共交通や自転車・徒歩等に転換した結果、市内の主要交差点(主要渋滞ポイント等)で朝ピーク時の渋滞長が軒並み減少。



▼「職場交通プラン」策定事業所数



・行政と事業所が連携し、「職場交通プラン」を策定、通勤時等の交通手段を見直す取り組みを平成19年度から実施。

・H23年3月には72社が作成するなど、事業所の機運も高まってきている。

※職場交通プランとは

各事業所において、通勤や業務移動などの交通段を見直し、取り組みの内容や目標を設定し、「できることから、できるペースで、できる人から、少しずつ」取り組みを行うことです。
(松江都市圏では「まつエコ宣言」という名称で事業所の方々と連携して取り組んでいます。)